競　技　注　意　事　項

１．規　則

競技は２０２１年度（公財）日本陸上競技連盟規則及び本大会要項、申し合わせ事項によって行う。

２．練　習

①練習は危険防止に十分注意して行う。競技場内もしくは競技場外園路とする。**（公園側園路は禁止。）**

②会場への投てき物の持ち込みは禁止とし、練習は現地集合完了後、役員の指示により競技場で行う。

③トラック競技開始 10 分前までは競技場を開放する。

④フィールド競技の練習は、役員の指示により競技場で行う。

⑤**雨天走路は、手指の洗浄および洗顔・消毒の場所とするため、開放しない。**

⑥器具の使用後は、手洗いをすること。

３．招　集

①**招集は２度行う。**

１次招集：「体調管理チェックシート兼大会出場承諾書」と「当日参加状況届」を TIC に提出する。（出場する種目を棄権する場合、「当日参加状況届」の「参加棄権欄」に「×」を記載した上で、スタートリストに記載されている棄権者の氏名に訂正線を記入する。提出忘れや記入漏れがある者は棄権とみなすこととする。）

２次招集：各種目ともタイムテーブル記載の集合完了時刻までに下記の場所に集合する。時間に遅れた者は棄権とみなす。荷物は各自で管理すること。

◇１００ｍ・１００ｍＨ・１１０ｍＨ・４００ｍＲ４走	第４ゲート付近
◇２００ｍ・３０００ｍ・４００ｍＲ３走	第３ゲート付近芝生エリア
◇１５００ｍ・４００ｍＲ２走	第２ゲート付近芝生エリア
◇４００ｍ・８００ｍ・４００ｍＲ１走	第１ゲート付近
◇走高跳・四種走高跳	走高跳跳躍ピット
◇棒高跳	棒高跳跳躍ピット
◇走幅跳	走幅跳跳躍ピット
◇砲丸投・四種砲丸投	砲丸投投擲ピット

②四種競技出場者の招集については、以下の要領で行う。

＊１種目めは、１次招集を終えて、集合完了時刻に上記の場所で混成競技係による点呼を受ける。２種目め以降は、集合完了時刻に上記の場所で混成競技係による点呼を受ける。

③**トラック種目の競技者は、招集所にて配布される腰ナンバーカードを受け取り、右尻部につけること。（リレー競技は第４走者のみ。）安全ピンは各自で準備する。**

④複数種目を兼ねて出場する場合には、その旨を競技役員に申し出ること。

⑤ウォーミングアップ中のケガ等により棄権をする場合には TIC に棄権届を提出すること。

４．入　退　場

①２次招集が完了した者は、競技役員の指示・誘導に従ってスタート地点（ピット）に荷物をもって移動する。

②トラック競技はレース終了後、**競技役員の指示に従って本部前を通り雨天走路に移動し、手指の洗浄および洗顔・消毒を行い退場する。（本部前は競技役員の指示がない限り、通行することはできない。）**

③フィールド競技は、**終了後競技役員の指示に従い、雨天走路にて手指の洗浄および洗顔・消毒を行って、退場する。**

④競技終了後、**腰ナンバーカードをゴール地点にあるカゴに入れる。**

５．ナンバーカード（アスリートビブス）

①ナンバーカード（アスリートビブス）は、登録されたものを使用する。所有していない者は仮ゼッケン（千葉市陸上競技協会指定の番号を記載したゼッケン）を使用する。

②アスリートビブスは胸(腹ではない)と背に、しわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。ただし、跳躍競技については１枚を胸または背のどちらかにつけるだけでもよい。

６．トラック競技について

①トラック種目はすべてタイムレースとする。

７．フィールド競技について

①走高跳・棒高跳を除くフィールド競技は**３回の試技を行なう。**

②リレーと兼ねて出場する競技者は、競技者係および当該種目審判員主任に申し出をし、その指示に従うこと。ラウンド中の試技順の変更は当該種目審判員主任の指示によるが、次のラウンドに移った場合は、パス扱いとする。申し出を怠った競技者は棄権とみなす。

③棒高跳支柱移動申告について、競技者は競技開始30分前までに当該審判員に希望する支柱の位置申告をすること。もし、競技者がその位置を変更したい時は直ちに当該審判員に申告すること。
④走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、審判長の指示によって変更する場合もある。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	
中学男子走高跳	1m20/1m50	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	以降3cmずつ ※中学男子は170cm以降3cmずつ
中学女子走高跳	1m00/1m30	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	
男子四種走高跳	1m20/1m50	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	170cm以降3cmずつ
女子四種走高跳	1m00/1m30	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	以降3cmずつ
中学男子棒高跳	2m00/2m50	1m80	2m00	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	2m70	以降10cmずつ
中学女子棒高跳	1m40/2m00	1m40	1m60	1m80	2m00	2m20	2m30	2m40	2m50	

８．競技からの除外
競技運営上必要と認めた場合、審判長がレース中の競技者を中止させることがある。
９．リレー競技について(リレーオーダー用紙はTICに準備)
①リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙を２部作成し、**集合完了時刻の60分前までにTICに提出すること。**（顧問のサインを忘れないこと）
②招集は各スタート場所で行う。
③リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。
④**バトンは各学校で用意したものを使用する。ダッシュマークは各学校で準備する。ダッシュマークの回収は各学校の前走者が行う。**（バトンは第１走者のみ。）
１０．用　器　具
①棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。
②スパイクの長さは、走高跳は１２ｍｍ、その他は９ｍｍ以下とする。
③**シューズ（スパイク・ランニングシューズを含む）の厚さについての今大会の規定は以下の表に準ずる。**

種目	靴底の最大の厚さ (TR5.5,TR5.13.3)	要件・備考
投擲種目・跳躍種目 ※三段跳を除く	20mm	全投擲種目と高さを競う跳躍種目に適用。 全投擲種目と跳躍種目で靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 ※ハードル種目を含み、800m未満の種目	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて、適応する。
トラック種目 ※800m以上の種目	25mm	リレーにおいては各走者が走る距離に応じて適応する。

１１.番組編成及び結果発表
①各種目の結果発表は、アナウンスで行わず、競技場正面入り口外の掲示スペースにて掲示する。
②各種目の入賞は８位までとし、賞状を授与する（競技終了後、アナウンス室へ取りに来ること）。
１２．抗　　議
日本陸上競技連盟規則１４６条により申し立てを行う。

１３．そ　の　他

①プログラム記載事項に訂正がある場合には、顧問が取りまとめ、競技役員打ち合わせ開始前までに訂正内容を持って本部まで申し出ること。
②セパレートレーンを使用する競技においては、フィニッシュ後は該当レーンに沿って走り抜けること。
③ホームストレート側(本部前からフィニッシュライン付近まで)を通行しないこと。ただし、競技終了後の選手のみ役員の指示のもと通行可とする。
④競技場内外のアスファルト部分へはスパイクで入らないこと。また、競技場内の芝生内、スタート位置後方、フィニッシュ位置後方に立ち入らないこと。また、**メインスタンドは使用しない。**
⑤競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者側で行うが、以後の責任は負わない。
また、体調が悪くなった者は医務員の指示に従うこと。
⑥更衣室では更衣のみを行い、私物等を置かないこと。
⑦各自の持ち物については自分自身で責任をもって管理し、盗難に注意すること。
⑧ゴミについては、各自必ず持ち帰り、競技場・駅・バス停など公共の場に捨てないこと。
⑨大会主催者から指定された場所以外でのテント張りは禁止する。
⑩テントやタープは、ロープなどを使って手すりなどに固定し、強風で飛ばないようにすること。
⑪横断幕やのぼりは設置しないこととする。
⑫スターターより「ON YOUR MARKS」がかかったら、選手が集中できるように競技場全体で音を出さないように配慮すること。スタートの付近では特に気をつけること。
⑬競技者が号砲前にグラウンド（地面）及びフットプレートから手や足を離した場合、不正スタート（フライング）となり、当競技者は失格となる。
⑭「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」に従って競技を進める。
⑮**競技中、大声で応援することを禁止する。**
⑯**競技が終わった選手は、所属団体責任者または顧問に報告したのち、速やかに帰宅する。**
⑰**熱中症予防策として、日本スポーツ協会が定める熱中症予防運動指針に従い、WBGT31℃を超えた場合には競技を中断し、本部で協議する。原則として WBGT31℃以下になるまで競技は中断とし、中断時間が２時間を超える場合には本大会の以後の競技については中止とする。**